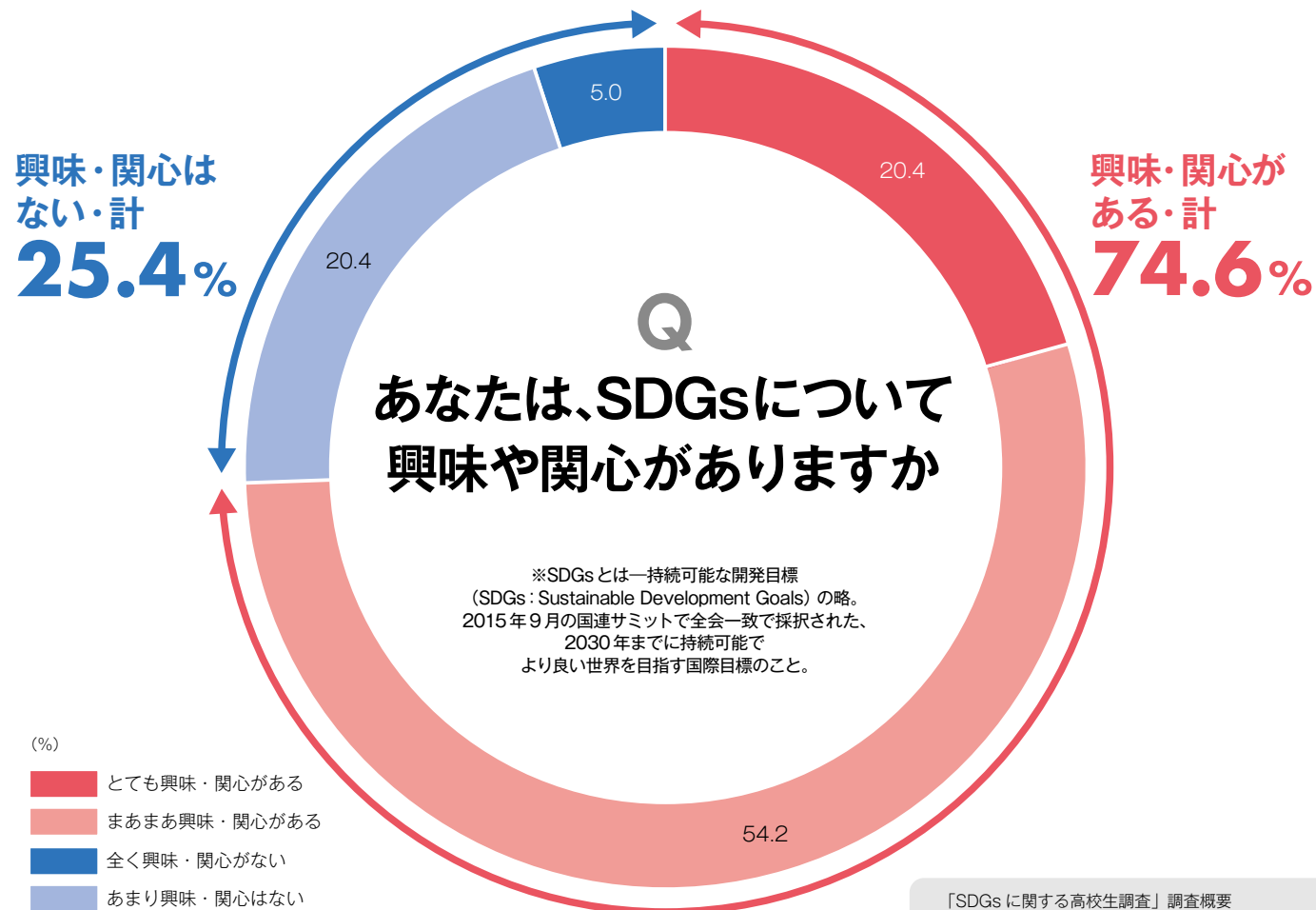


# 特集 01 大学にとってのSDGs

## SDGsに関する高校生調査

### 1. 高校生のSDGsに対する興味・関心

図表 1  
興味・関心ありが7割以上。とても興味・関心ありは2割



「SDGsに関する高校生調査」調査概要  
 調査目的：高校生のSDGsに関する興味・関心や、進路選択との関連性について把握する  
 調査期間：2022年12月7日(水)～12月13日(火)  
 調査方法：インターネット調査  
 調査対象：全国の高校1～3年生（調査時点）  
 有効回答数：323人

SDGsについては、2015年に国連で採択されて以降、今や世界中のあらゆる組織、そして老若男女を問わず多くの個人がその存在を認知し、関心を高めている。2018年に示された文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」においても、その答申内容の前提となる社会のありようとして、「国連が提唱する持続可能な開発のための目標 (SDGs) は、『誰一人として取り残さない (leave no one behind)』という考え方の下、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できる社会」と記載されている。そもそも、教育や研究を通じた、多様な問題解決への貢献の連続が、高等教育の歴史ではある。しかしながら、未曾有の危機が待ち構えている将来を見据え、改めて地球と人類のサステナビリティのために何を為すべきか、SDGsが生まれたことをきっかけとして捉え直している大学も多いのではないだろうか。実際に多くの大学が、SDGs達成に向けた取り組みをホームページ上で様々に発信している。

一方、初等教育から始まった新学習指導要領の前文と総則には、学習者を「持続可能な社会の創り手となる生徒」と記し、持続可能な開発のための教育 (ESD) を進めている。地球

社会の現状を自分自身の関わりから「自分事」として捉え、そこから生まれる問いを他者との協働経験や内省を通じて探究していく過程で、SDGsに触れることも多いようだ。

多くの教育機関が、そしてもちろん企業や自治体が、SDGsに対する主体者として動き出していることは間違いないであろう。日々の社会生活の中でも、各主体者が発信する情報とともに、カラフルなSDGsのロゴを目にしない日はないといっても過言ではない。しかしなかには、解決のための本質的な活動に繋がっていない等、取り組みの実態は一様ではないようだ。

今回の特集では、SDGsの本質とは何かを改めて専門家に伺うとともに、その本質を踏まえて、独自のビジョンや取り組みへと確実に昇華している大学、高校、そして企業を取材した。

今回、SDGsが目指す持続可能な社会の主役となる高校生達が、今SDGsに対してどのように捉えているのかについてのアンケートを実施した。まずはその結果のご紹介からスタートしたい。

図表 2  
低学年ほど興味・関心が高い傾向

	興味・関心がある・計	興味・関心はない・計		興味・関心がある・計	興味・関心はない・計
		とても興味・関心がある	まあまあ興味・関心がある		
学年					
高校1年 (n=100)	79.0	23.0	56.0	19.0	21.0
高校2年 (n=105)	73.3	18.1	55.2	19.0	26.6
高校3年 (n=118)	72.0	20.3	51.7	22.9	28.0
性別					
男子 (n=157)	76.4	17.2	59.2	18.5	23.6
女子 (n=161)	73.3	23.6	49.7	22.4	26.7
大短進学率					
70%以上・計 (n=250)	76.8	21.6	55.2	19.6	23.2
70%未満・計 (n=73)	67.1	16.4	50.7	23.3	32.9
文系志望・理系志望					
文系 (n=157)	73.9	16.6	57.3	19.7	26.1
理系 (n=128)	75.7	27.3	48.4	21.1	24.2
どちらでもない (n=19)	84.2	15.8	68.4	5.3	15.8
まだ決めていない (n=19)	63.1	10.5	52.6	36.8	36.8

前ページの図表2は、高校生にSDGsに関する興味・関心の有無を尋ねた結果であるが、7割以上の高校生は「興味・関心がある」と回答している（「とても興味・関心がある（20.4%）」「まあまあ興味・関心がある（54.2%）」の合計）。属性別に見ると、大きな傾向の違いはないものの、学年別で低学年ほど「興味・関心がある」と回答した比率が高いこと、通学する高校の大短進学率において進学率70%以上のほうが「興味・関心がある」と回答した割合が高いことが分かった。

下の図表3および4は、SDGsの17の目標のテーマと、「①関心があるもの」「②大学で学んでみたい分野やテーマと関

連があると思うもの」「③取り組んでいる『探究の授業』や『探究活動』のテーマと関連があると思うもの（探究学習経験者のみ）」「④日常生活の中で、大切にしたり、注意して行動したりしているもの」との関連性について、それぞれ複数回答（MA）可で尋ねた結果をまとめたものである。

まず全ての設問を通じて共通して言えることとして、17のテーマのなかで半数を超えるようなものではなく回答が分散していることだ。興味・関心ごとや、探究において学ぶ内容が比較的異なっていることがうかがえる。

次に、各問に対する平均の割合をみると、「①関心のあるもの」は22.4%であるが、「②大学で学んでみたい分野やテーマと関連があると思うもの」は12.8%、「③取り組んでいる『探究の授業』や『探究活動』のテーマと関連があると思うもの」12.4%、「④日常生活の中で、大切にしたり、注意して行動したりしているもの」11.2%という結果となっている。関心はあるが、学びや生活行動との関連付けまでには至っていないようだ。

さらにSDGs目標の内容別に見ると、目標10「人や国の不平等をなくそう」については、①～④の設問のうち、②を除く3つの設問項目において上位5位以内に入っているテーマで

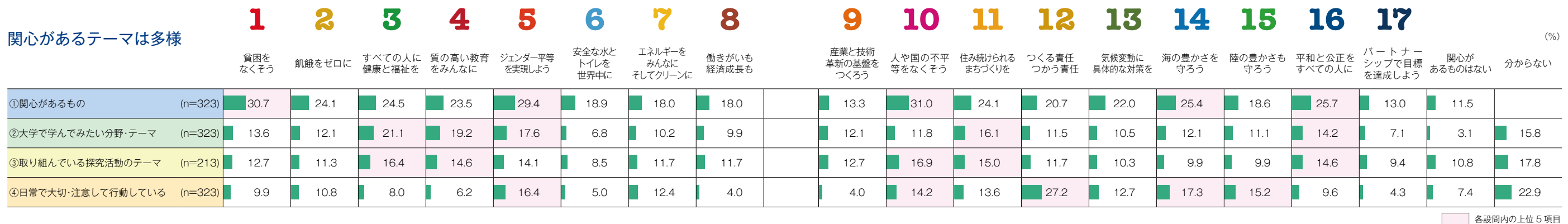
ある。興味・関心があったり、探究活動のテーマとも近いと感じながらも、「大学で学んでみたいこと」としての関係性は高くはないと捉えている傾向が見られる。SDGs目標の1「貧困をなくそう」についても関心は高いが、学びや日常行動に対しての設問では高くはなく、乖離があった。

「②大学で学んでみたい分野・テーマ」としての上位5位は、「すべての人に健康と福祉を（21.1%）」「質の高い教育をみんなに（19.2%）」「ジェンダー平等を実現しよう（17.6%）」「住み続けられるまちづくりを（16.1%）」「平和と公正をすべての人に（14.2%）」という結果となっている。

## 2. SDGsの17の目標と高校生の関心・学びとの関係

図表3 SDGsの17の目標と高校生の関心・学びとの関係

- Q①: SDGsで設定された以下の17の目標のうち、あなたが関心があるものはどれですか。(MA)
- Q②: あなたが大学で学んでみたい分野やテーマと関連があると思うSDGsの17の目標はどれですか。(MA)
- Q③: あなたが取り組んでいる「探究の授業」や「探究活動」のテーマと関連があると思うSDGsの17の目標はどれですか。(MA)
- Q④: あなたが日常生活の中で、大切にしたり、注意して行動したりしているSDGsの17の目標はどれですか。(MA)



図表4 「関心があるもの」に比べて、学びや日常行動についての平均値は低め

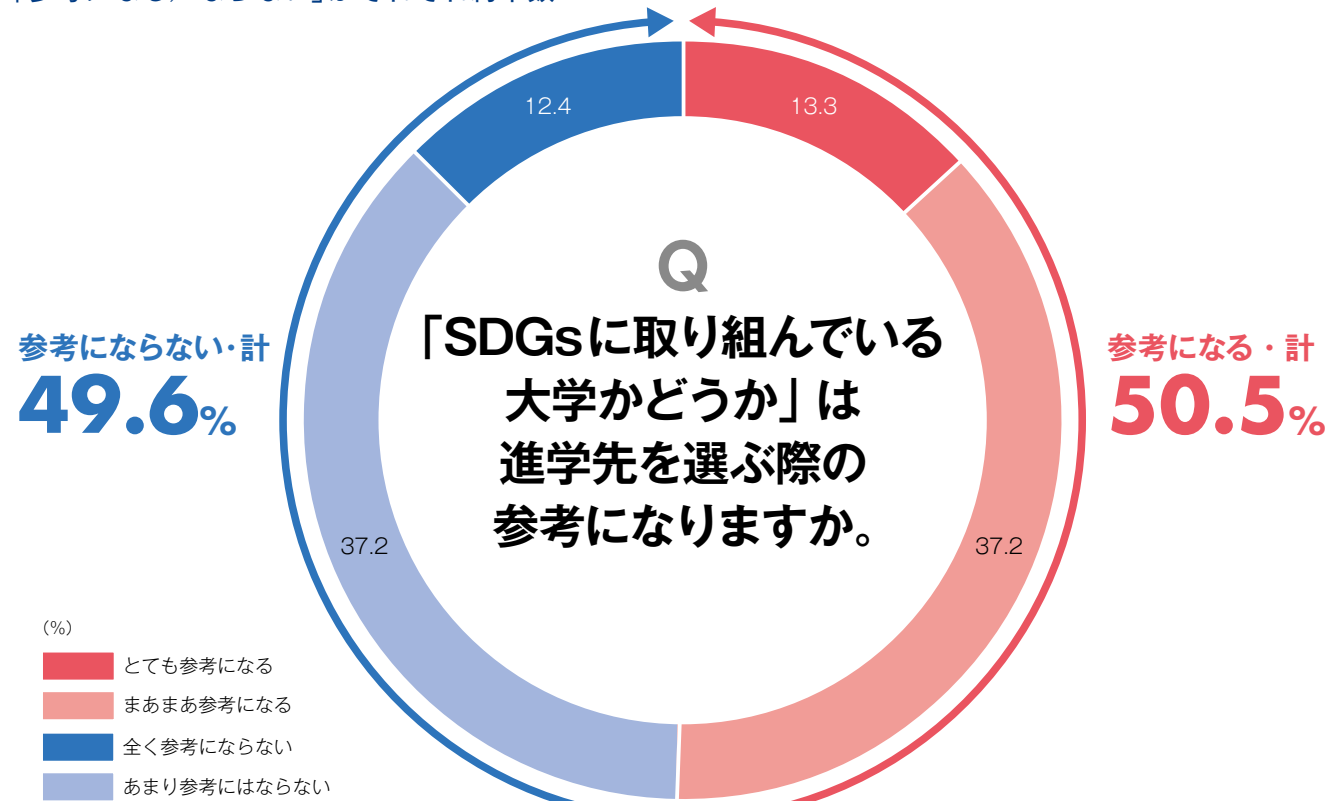


注: 17の目標のうち、各テーマにおいて上位5のみ抜粋



図表5

「参考になる／ならない」がそれぞれ約半数



図表5-6は、「『SDGsに取り組んでいる大学かどうか』は進学先を選ぶ際の参考になるか」を尋ねたものである。結果としては、「参考になる」「参考にならない」がほぼ半數ずつに分かれる結果となった。属性別で見ると、最も差が表れたのが「大短進学率」で、「参考になる」と回答した高校生の割合が、進学率70%以上では52.4%、進学率70%未満では43.8%と、8.6ポイントの差があり、進学校のほうが、大学のSDGsに対する取り組みを進路選びの観点としている可能性が見えた。なおかつ進学率70%未満の高校生の場合には、2割以上は「全く参考にならない」と回答しており、進学校との乖離が見られた。

なお、学年別で進路検討が具体化する高校3年段階において他学年よりも「参考になる」が若干ではあるが高くなっている。

前述の通り、高校生の7割以上がSDGsに関する「興味・関心はある」と回答している。またそのテーマについても、個々人がそれぞれに選択している様子が見てとれた。SDGsの社会課題への興味・関心が、仮に漠然としたものであっても、将来の進路とうまく関連付けられる一つの機会になるならば、単なる知名度や偏差値だけに依存した選択よりも意味のあるものになるのではないだろうか。

(文/金剛寺 千鶴子)

図表6

大短進学率が高いほうが「参考になる」と回答している高校生が多い

	学年	性別	大短進学率	文系志望・理系志望	参考になる・計				参考にならない計	
					とても参考になる	まあまあ参考になる	あまり参考にはならない	全く参考にならない	参考になる・計	参考にならない計
高校1年	(n=100)				15.0	34.0	37.0	14.0	49.0	51.0
高校2年	(n=105)				10.5	38.1	41.9	9.5	48.6	51.4
高校3年	(n=118)				14.4	39.0	33.1	13.6	53.4	46.7
男子	(n=157)				11.5	39.5	36.3	12.7	51.0	49.0
女子	(n=161)				15.5	36.0	36.6	11.8	51.5	48.4
70%以上・計	(n=250)				13.2	39.2	38.0	9.6	52.4	47.6
70%未満・計	(n=73)				13.7	30.1	34.2	21.9	43.8	56.1
文系	(n=157)				13.4	36.9	38.2	11.5	50.3	49.7
理系	(n=128)				15.6	37.5	34.4	12.5	53.1	46.9
どちらでもない	(n=19)				10.5	36.8	31.6	21.1	47.3	52.7
まだ決めていない	(n=19)				0.0	36.8	52.6	10.5	36.8	63.1

## 探究活動のテーマ

図表7

Q:あなたが取り組んでいる「探究活動」のテーマは具体的にどのようなものですか?  
(「あなたは現在、高校において「探究の授業」や「探究活動」に取り組んでいますか」の設問で「はい」と回答した人のみ)

### 「SDGs」の文字が散見される

探究するテーマを尋ねる設問であったが、「SDGs」そのものをテーマとして回答しているケースも見られる。また「発表」「話し合い」「プレゼン」のような授業の方法や、「(テーマが)分からない」等の回答も散見される。

- ・わからない
- ・分らない
- ・班で調べて別紙にまとめ、発表する
- ・いつでも受けられるようにリモート授業をする。
- ・エシカル消費
- ・進路学習など
- ・がん・脳卒中の予防法について
- ・私達ができることは何か
- ・鬼滅の刃の人気について
- ・地球温暖化の抑止
- ・身近な問題について調べる
- ・わからない
- ・アジアの貧困
- ・総合的な学習の時間
- ・外国人労働者について
- ・小川学。小川町内の小・中学校、高等学校の児童生徒が小川町の文化や歴史、産業等について理解を深め、地域活動への参画や地域課題の解決に取り組む学び。
- ・将来のライフプラン
- ・様々な
- ・高齢者と若者の共存
- ・国際問題について
- ・ジェンダー問題の「差別」と「区別」について
- ・その時々によって毎回テーマは変わるが全てSDGsに関連したのになっている。
- ・人種差別の歴史
- ・地域の課題を解決する
- ・好きなもの
- ・スマホによる脳の影響
- ・インクループ公園
- ・水力発電
- ・特になし
- ・街の課題
- ・簡単には言えない
- ・地球温暖化を防ぐ 北海道の問題について考える
- ・大学で学べることとそれを生かした社会貢献について
- ・グローバルプレゼン、英語
- ・海洋プラスチックの増加や気候変動問題
- ・理数科の課題研究で果実からの色素抽出
- ・ストレス
- ・覚えてない
- ・同性婚について ジェンダーフリー
- ・普通の日常から紐解く話など
- ・進路探求
- ・森林の役割
- ・国語探究
- ・貧困や戦争
- ・SNSとの接し方
- ・学問・職業研究
- ・気候変動による人体への影響
- ・未定
- ・リデュース、リユース、リサイクルなどの分別や環境保護など・地域と関わる。
- ・SDGsの調べ学習、発表
- ・将来に関するような職業についてとか
- ・18個目のSDGsを考える
- ・地域学習
- ・Rowingdoubleconeの動き方
- ・世界中の子供に平等な食料と教育を
- ・方言の成り立ち
- ・進路探求
- ・森林の役割
- ・理科の観察
- ・SDGs
- ・心を育むもの
- ・医療ケア児
- ・タンパク質とダイエット
- ・世界遺産が抱える問題とSDGsの関連性についてグループで調べてプレゼンをする・企業のSDGsの取り組みについて学ぶ
- ・ポスターセッション
- ・SDGsについて企画を立てる
- ・スマホについて
- ・医療福祉
- ・食品の保存
- ・地域の医療格差
- ・好きなこと
- ・2月に学校から選ばれてフロリダ州のNASA、ケネディ空港に研修に行きます。
- ・フードロスなくそう
- ・発表
- ・貧困関係
- ・海外の教育と日本の教育制度の違いについて
- ・話し合いなど
- ・地球温暖化対策
- ・SNS・焼肉屋の業績アップするためにはどうしたら良いか
- ・地域を知る
- ・職場体験
- ・SDGsのレポート作成
- ・特になし
- ・自分について
- ・地域の歴史
- ・メイク
- ・これから取り組んで行く
- ・美
- ・トマトのアクアポリン
- ・災害時の地域のつながり
- ・町のことをPRする
- ・源氏物語
- ・平和学習
- ・陸の豊かさを守るためにはどうしたら良いか
- ・学校周辺の課題を見つける
- ・実際に起きている問題を学ぶ。
- ・特になし
- ・探究の教科書を用いて、進めていく
- ・人間関係について
- ・地球に関わること、グローバルコミュニケーション
- ・金融について
- ・スポーツ
- ・興味のある分野について
- ・自分が社長になったらSDGsの取り組みをするかを発表した
- ・自分の好きなことの魅力を語る授業。
- ・太陽光発電の未来
- ・地球環境のことや自らがどう社会と関わっていくか
- ・天は人の上に人を作らず
- ・世界平和 地球温暖化
- ・忘れた
- ・イエスマンは幸せか
- ・犯罪被害者の支援制度やネットワーク
- ・将来なくなる職業
- ・SDGsに関連した本の紹介
- ・現在の社会の課題や解決策について考えるもの
- ・これからの進路
- ・総合的な学習として、社会で必要とされるスキルを身に付けたり、過去や現在、未来の地球について考えたりし、様々な思考力を身につける。
- ・環境問題
- ・街の様子
- ・分からない
- ・分からない
- ・論理コミュニケーション
- ・街の福祉について
- ・SDGsそれぞれについて国が取り組んでいることを調べる
- ・分野別に情報を集めて自分たちができることを考え、プレゼンをする
- ・畜産農産など
- ・自分が解決したい問題についてなんでも
- ・病気の新しい治療法
- ・ゴミの再利用
- ・パワハラ防止の為に高校生がする事ができるのは何か
- ・人種差別
- ・自分の興味のあるテーマについて調べてレポートにまとめる
- ・アプリ開発のプログラミング 身近なことのプロジェクト作成
- ・班に別れてそれぞれの探求内容を考え、それについて調べました
- ・フェアトレードやLGBTについて。フェアトレードのオンライン研修を行った。最終的に3泊で徳之島で現地研修を行った。LGBTでは制服のあり方について考えて、9月から女子生徒のスラックス着用を認められる酔うに意見書をかき、無事達成できた
- ・SDGsが作られた目的や、それぞれの課題を達成するためにどうするべきかをグループなどで話し合い発表
- ・取り入れた情報をまとめて 具体的にどのような策を講じれば良いのかを考えるもの

注：回答者が記入した表記のまま掲載している